

## 高潮とは…

高潮は、台風や猛烈に発達した低気圧が原因で発生し、気圧の低下による吸い上げ効果や同じ風向きで強風が吹き続けることによる吹き寄せ効果により、海面が全体的に上昇する現象です。場合によっては1～2日にわたって海面の高い状態が続くこともあります。



### 高潮発生3つの要因

#### 1 気圧低下による海面の吸い上げ

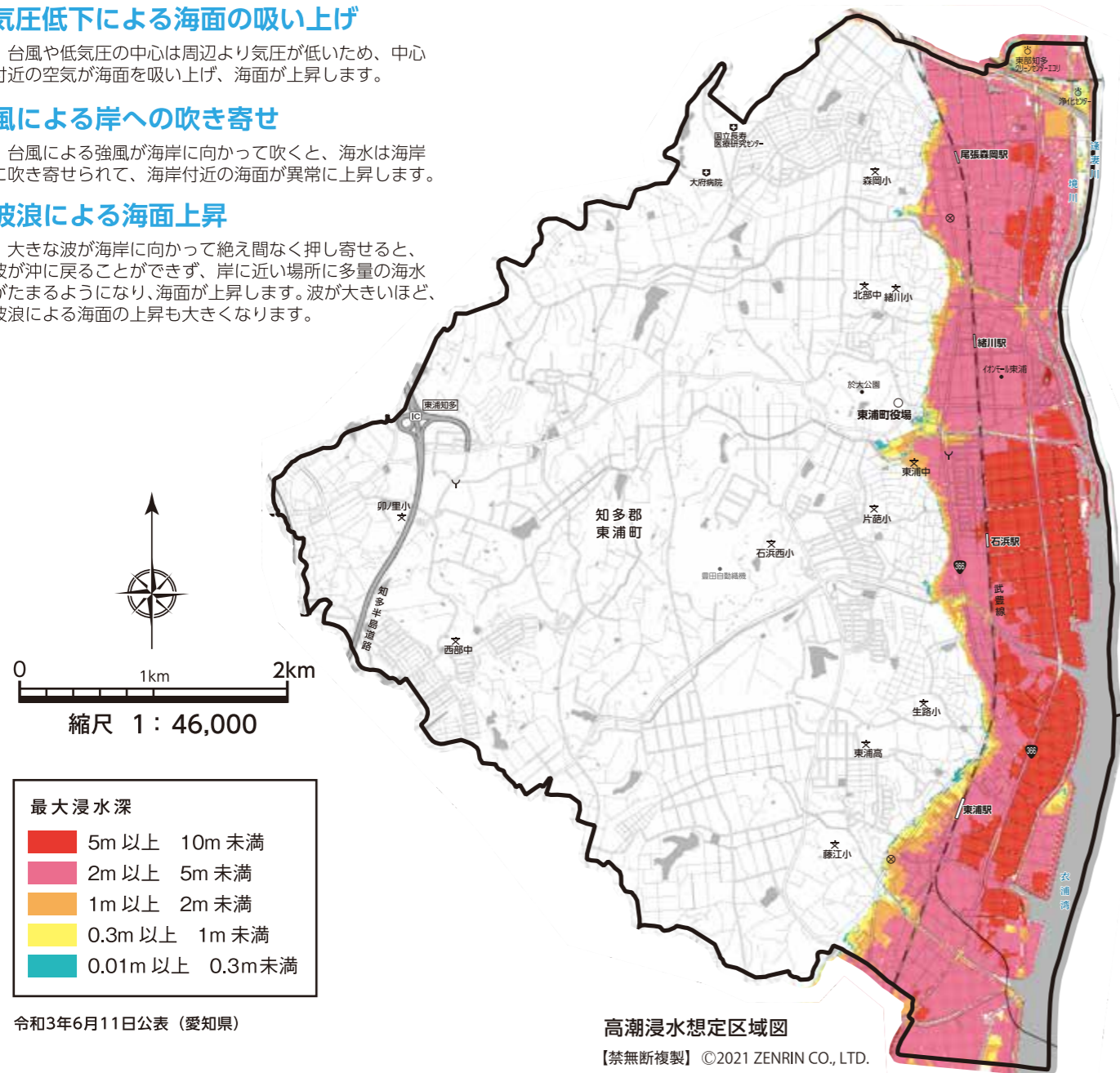
台風や低気圧の中心は周辺より気圧が低いため、中心付近の空気が海面を吸い上げ、海面が上昇します。

#### 2 風による岸への吹き寄せ

台風による強風が海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられて、海岸付近の海面が異常に上昇します。

#### 3 波浪による海面上昇

大きな波が海岸に向かって絶え間なく押し寄せると、波が沖に戻るができず、岸に近い場所に多量の海水がたまるようになり、海面が上昇します。波が大きいほど、波浪による海面の上昇も大きくなります。



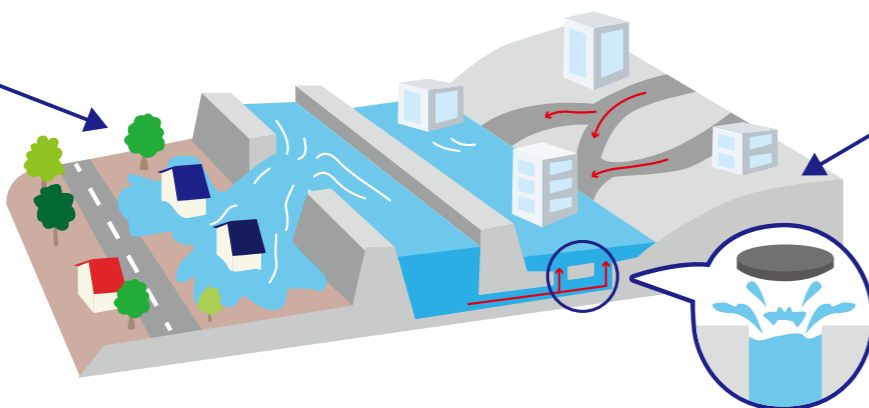
## 氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

### 外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。

氾濫が起きると一気に水かさが増すため、最大の注意が必要。



### 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる洪水。

的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。

## 避難行動のポイント、危険な場所

### 浸水が始まる前に早めの避難を

- 浸水してからの自宅外への避難は危険。
- 気象情報や河川洪水予報などの情報をもとに、自主的に早めに避難を開始する。



愛知県川の防災情報



名古屋地方気象台



### 状況に応じた避難を

- 周囲の状況が危険で避難所まで移動できない場合は、垂直避難する。
- 移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に避難する。



### 川や用水路、ため池に近づかない

- 川や用水路は見に行かない。
- 河川の様子を確認するには、東浦町の河川監視カメラ情報を活用する。

東浦町河川監視カメラ



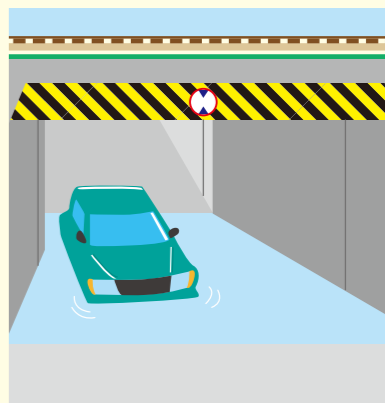
- 平常時にため池ハザードマップ等の情報をホームページで確認する。

ため池ハザードマップ



### 大雨で冠水しやすい道路

- 道路や線路の下をくぐる地下道(アンダーパス)に注意する。
- 万が一車が動かない場合は、できるだけ早く車外へ避難する。
- 平常時に大雨で冠水しやすい道路を把握し、迂回路を想定しておく。



### やむなく浸水の中を歩く際は

- 避難する時は、水中で脱げにくい紐靴などを履く。(裸足、長靴厳禁!!)
- 避難所へ避難する時は、手に荷物を持たず、2人以上で行動する。
- 長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。



### ペットと避難する際は

- 避難所では、ペットと同じ空間で過ごすことができないため、日頃からケージ等で嫌がらず生活できるようにしつけておく。
- 平常時にペットフードや水の備蓄、ワクチン接種等の健康管理をしておく。



ペット避難

避難とは、「難」を「避」けることじゃ!!  
安全な場所にいる人は、避難する必要はないのじゃ!!



### 指定緊急避難場所

災害が発生した際に、身を守るために一時的に避難する場所

### 指定避難所

災害発生後、自宅の損壊や水害、がけ崩れ等のため、自宅で生活できない被災者が一定期間生活をする場所

※指定避難所は、災害発生後、建物の安全確認を行ったうえで開設するため、すぐに使用することはできません。